

議 第 1 2 号 議 案

米不足と価格高騰に対する緊急対策と抜本対策を求める意見書の提出に
ついて

米不足と価格高騰に対する緊急対策と抜本対策を求める意見書を別紙のとおり、富士見市議会会議規則第13条の規定により提出します。

令和7年6月20日提出

富士見市議会議長 勝 山 祥 様

提出者 富士見市議会議員 宮 尾 玲

賛成者 同 根 岸 操

提 案 理 由

米不足と価格高騰に対する緊急対策と抜本対策を求める意見書を地方自治法第99条の規定に基づき政府に対して提出するため、この案を提出します。

米不足と価格高騰に対する緊急対策と抜本対策を求める意見書

政府はこれまで、「もうすぐ新米が出回る」や「流通が目詰まりしている」などとして有効な手立てを打ち出そうとしなかった。

米不足の原因は、「米の消費は減っている」として政府が生産量の削減を現場に求めたことにある。根本的な要因は、米の需要と価格を市場任せにしてきたことにある。政府は、2013年に閣議決定した「日本再興戦略」で当時60キログラム1万6,000円（全国平均）であった米価を9,600円程度に下げることが目標に、米生産が主流だった兼業農家への支援をほとんどなくした。

稲作農家はこの四半世紀で121万人減の53万人となり、800万トン以上あった米の生産量はこの20年間で150万トン以上減少し、作付面積は40ヘクタール減少している。2021年産米はコロナ禍で需要が大幅に減少したため在庫が過剰となり、生産者米価が大暴落し、稲作農家の時給は10円という悲惨な事態が広がった。この時も政府は、米が過剰だからと年間20万トン以上の減産を強い、さらに在庫を減らしてきたことが現在の米不足と価格高騰につながっている。

弱体化した生産基盤の下で、米不足は今後も続く可能性がある。政府が米の需給と価格安定に責任を持ち、多少の不作や需給増でも不足しないように、ゆとりをもって生産量や備蓄を確保すること、豊作などで供給が需給を上回った場合は備蓄に回すことが必要である。

よって、富士見市議会は、政府に対し、下記の対策を早急に実施するよう強く求める。

記

- 1 米不足の実態把握や高騰する米価格の安定化、フードバンクや子ども食堂への支援などの緊急対策を講ずること
- 2 国民の主食である米を将来にわたって安定供給するため及び価格保障や所得補償などで農家が安心して稲作に励める条件を国の責任で整えるため、農業予算の抜本的な増額を行うこと

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 年 月 日

埼玉県富士見市議会

内閣総理大臣
農林水産大臣

様
様